

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 修正履歴(8/18~8/30)

現在の頁数	項目	区分	内容	修正概要	修正内容
P1	1.1 空間データ製品仕様書の作成情報	題名	題名の修正	名称を修正する。	「農業・農村基盤図製品仕様書(Ver.0.5)」 「農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案)」に修正
P2	1.7 略語		項目の削除	項目を削除する。	「1.7 略語」を削除する。
P7	農地	クラス図	管理コード	型を修正する。	「管理コード」「CharacterString」に修正
P7	農地	クラス図	農地と耕区の間連(耕作区域)	多重度を修正する。	耕区の間連[1..*][0..*]に修正
P8	農業用排水施設	クラス図	市町村コード	名称を修正する。	「市町村コード」「市区町村コード」に修正
P8	機場	クラス図	原動機動力	型を修正する。	「Integer」「CharacterString」に修正
P8	貯水池	クラス図	属性追加	属性を追加する。	「取水施設備考」・「放流施設備考」を追加
P8	水路	クラス図	ステレオタイプ	内容を修正する。	ステレオタイプを「Abstract」「Feature」に修正
P8	水路付帯施設	クラス図	ステレオタイプ	内容を修正する。	ステレオタイプを「Feature」に修正
P8	水路付帯施設	クラス図	形状	型を修正する。	「形状:GM Primitive」「地点:GM Point」に修正
P10	農地	属性	範囲	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の記述を「農地の外側」「農地の外形」に修正 ・略図を追記
P10	農地	属性	大字コード、小字コード	記述を修正する。	「附属書1 コード対応表」「全国町・字ファイル((財)国土地理協会)」に修正
P10	農地	属性	地番・枝番・子番	記述を修正する。	「半角数字とし、数字と数字の間は括弧で記述する。」 「半角数字とする。」に修正
P11	農地	属性	登記簿面積	記述を修正する。	「0以上の実数で、小数点以下2桁までとする。」「0以上の実数とする。」に修正
P11	農地	属性	元資料コード	記述を修正する。	仕様書でコード表を削除し、附属書で記述
P11	農地	属性	農地と耕区の間連(耕作区域)	多重度および記述を修正する。	・多重度[1..n][0..n]に修正 ・「農地上の一つ以上の耕区。」「農地上の耕区。」に修正
P11	耕区	属性	範囲	図を追記する。	略図を追記
P12	耕区	属性	管理コード	多重度および記述を修正する。	・多重度[1][0..n]に修正 ・「農地の管理コード」「農地の中で代表となる農地の管理コード」に修正
P12	耕区	属性	耕区コード	記述を追記する。	・「都道府県コード、市区町村コード、大字コード、小字コード、耕区番号から構成される」を追記 ・定義域に「都道府県コード2桁、市区町村コード3桁、大字コード3桁、小字コード3桁、耕区番号3桁とし、これを順に並べて14桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」を追記
P12	耕区	属性	所有者コード、耕作者コード	多重度を修正する。	多重度[1][0..1]に修正
P12	耕区	属性	元資料	記述を修正する。	仕様書でコード表を削除し、附属書で記述
P13	農業用排水施設	属性	施設コード	記述を追記する。	・「都道府県コード、市区町村コード、土地改良区コード、系統番号、施設区分、施設番号から構成される、16桁の施設の管理コード。」に修正 ・定義域に「都道府県コード2桁、市区町村コード3桁、土地改良区コード2桁、系統番号3桁、施設区分2桁、施設番号4桁とし、これを順に並べて16桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。 土地改良区コードは、土地改良区運営実態調査で用いられる2桁のコードとする。管理主体となる土地改良区の場合入力を行い、それ以外は「99」とする。 ・系統番号は、農業基盤整備基礎調査における3桁のコードとする。 ・施設区分は、以下の2桁のコードとする。」を追記(表は省略)
P13	農業用排水施設	属性	施設名称、用排水区分、系統区分、基幹水利施設コード、農業水利ストック施設コード	属性の並びを修正する。	入力必須である施設名称、用排水区分を4番目、5番目とし、系統区分、基幹水利施設コード、農業水利ストック施設コードを6番目、7番目、8番目に修正する。
P13,14	農業用排水施設	属性	用排水区分、系統区分	記述を削除する。	定義域「コード対応表「~コード」を参照。」を削除
P14	農業用排水施設	属性	基幹水利施設コード	記述を追記する。	・「農業基盤整備基礎調査における基幹水利施設に該当する場合、入力する。」を追記 ・定義域に「~コード内容は、農業基盤整備基礎調査に従うものとする。」を追記
P14	農業用排水施設	属性	農業水利ストック施設コード	記述を追記する。	・「農業水利ストック情報データベースにおいて施設に付与された、局コード、都道府県コード、国県区分、事業コード、施設番号から構成される、13桁の施設の管理コード。」に修正 定義域に「局コード2桁、都道府県コード2桁、国県区分1桁、事業コード4桁、施設番号4桁とし、これを順に並べて13桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」
P14	農業用排水施設	属性	ファイリングコード	記述を追記する。	・「都道府県コード、市区町村コード、土地改良区コード、施設区分、路線系統番号、施設番号、ファイリング番号から構成される、18桁のファイリングを行うための識別コード。」に修正 ・定義域に「都道府県コード2桁、市区町村コード3桁、土地改良区コード2桁、施設区分2桁、路線系統番号2桁、施設番号4桁、ファイリング番号3桁とし、これを順に並べて18桁のコードとする。なお、各桁数に値が足りない場合は、右詰めとし、足りない桁部分は0埋めとする。」を追記
P15~	農業用排水施設を継承する地物	属性			継承する各地物においても上述の修正を反映
P16	頭首工	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
P17	機場	抽象/具象区分		記述を修正する。	「具体」「具象」に修正
P19	機場	属性	機場種別	記述を削除する。	定義域「コード対応表「~コード」を参照。」を削除

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 修正履歴(8/18~8/30)

現在の頁数	項目	区分	内容	修正概要	修正内容
P19	機場	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
P20	貯水池	抽象/具象区分		記述を修正する。	「抽象」「具象」に修正
P22	貯水池	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	取得基準の修正 「構造物(貯水池)の外形内の中心付近を点で取得する。 ・堤体が存在する場合は、堤体の中心付近を取得する。 ・堤体が複数存在する場合は、より面積の大きい堤体を選択する。 ・堤体が存在しない場合は、水張り面の中心付近を取得する。」を追記 ・略図を追記
P23	貯水池	属性	ため池防災施設コード	記述を修正する。	他の施設コード同様に記述
P23	貯水池	属性	直接流域面積	記述を修正する。	「を示す」を削除
P24	貯水池	属性	洪水吐備考	記述を修正する。	「洪水吐の」「洪水吐に関する」に修正
P24	貯水池	属性	属性追加	属性を追加する。	「取水施設備考」「放流施設備考」を追加
P24	貯水池	属性	放流施設形式・放流量	記述を修正する。	「貯水池の」「ダム・調整池における」に修正
P25	貯水池	属性	ため池区分	記述を追記する。	「かんがい用水を貯留する目的で築造された貯水池をため池とする。」を追記
P25	貯水池	属性	ダム区分	記述を追記する。	「流水を貯留する目的で築造する高さ15m以上の貯水池をダムとする。」を追記
P25	貯水池	属性	調整池区分	記述を追記する。	「取水量、通水量、用水量の需要量の調整を図る目的で設置する貯水池を調整池とする。」を追記
P25	貯水池	属性	ため池区分、ダム区分、調整池区分	記述を修正する。	「~に該当する場合には"1"、該当しない場合は"0"を記述する。」 「~に該当する場合は"true"、該当しない場合は"false"とする。」に修正
P27	水門等	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
P27	水門等	関連	水路と水門の関連(付帯施設(水門))	記述を修正する。	「付帯施設(水門等)」「付帯施設(水門)」に修正
P28	水路	抽象/具象区分		記述を修正する。	「抽象」「具象」に修正
P29	水路	属性	場所	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正 「構造物(水路)の外形内(あるいは敷地境界)の中心付近を線で取得する。 ・データは、大きな分水、属性内容の変化点にて区切ることを基本とする。 ・遮蔽物・埋設等により判読ができない場合は、その他の判読ができる資料が存在する場合にはこれを元に取得し、存在しない場合は概略位置を取得する(品質は問わない)ものとする。」を追記 ・略図を追記
P30	水路	属性	水路形式区分	記述を削除する。	定義域「コード対応表「~コード」を参照。」を削除
P30	水路	関連	水路と水門の関連(付帯施設(水門))	記述を修正する。	「付帯施設(水門等)」「付帯施設(水門)」に修正
P32	水路付帯施設	属性	地点	型を修正する。 記述を修正、図を追記する。	・「形状:GM_Primitive」「地点:GM_Point」に修正 ・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
P33	水路付帯施設	属性	付帯施設分類	表を追記する。	付帯施設の詳細項目表(修正)を追記する。
P37	集水渠	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正「構造物(集水渠)の外形内」 ・略図を追記 「取水箇所」に修正
P39	管理施設	属性	地点	記述を修正、図を追記する。	・取得基準の修正(あるいは敷地境界)の中心付近) ・略図を追記
P42	農地	品質	完全性 過剰	項目内容を修正する。	耕区と区分し、重複以外の過剰は許可する記述に修正
P44	データ集合全体	品質	論理一貫性 概念一貫性	記述を修正する。	「幾何要素」「幾何要素(GM_Surface、GM_Curve、GM_Point)」に修正
P44, 45	データ集合全体	品質	論理一貫性 全般	項目内容を修正する。	「XML文書」「別途規定する符号化規則で定義する文書」に修正
P46	農地	品質	論理一貫性 位相一貫性	項目を削除する。	品質項目「隣接する農地の位置関係が正しいこと」を削除
P46	農地	品質	論理一貫性 位相一貫性	項目を削除する。	品質項目「耕区は必ず農地上に存在すること」を削除
P46	農業用排水施設	品質	論理一貫性 位相一貫性	項目を修正する。	「参照データは、とする。監督員~」 「参照データは、監督員~とする。」に修正
P46	農地	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	適合水準「水平位置の標準偏差:0m(完全一致)」に修正
P46	耕区	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	・元資料記述(「またはこれを用い作成した入力基図)を追記 ・適合水準「0.75m(図上0.3mm)」「0.75m以内」に修正
P47	農業用排水施設	品質	位置正確度 絶対正確度	記述を修正する。	・元資料記述(「またはこれを用い作成した入力基図)を追記 ・適合水準「図上0.3mm」「0.75m以内」に修正 ・資料コードが22から58までの場合、45を除く」下線部を追記する。
P47	農地	品質	位置正確度 相対正確度	記述を修正する。	・評価尺度「データ集合と参照データの形状の相似性を示す尺度を規定し、~」 「データ集合と参照データの形状の相似性を示す尺度を必要に応じて整備団体にて規定する。」 (以降は例)に修正
P52	9 その他			記述を追記する。	新規整備するデジタルオルソおよび数値地形図の要件を追記

農業・農村基盤図製品仕様書Ver.0.5(素案) 意見対応状況

受付日	番号	意見項目		意見内容	事務局回答		
8/24	1	国土地理院	農地 品質 適合品質水準 (位置正確度)	データ品質(品質要求及び品質評価手順)の表のうち、 『位置正確度 > 絶対正確度 > 農地(元資料コードが11から14までの場合) > 適合品質水準』について、 『水平位置の標準偏差: ±0m』との記述は適切か再検討せよ。	再検討の結果、適切と判断。 なお元資料(公共測量座標による筆界データ)変換においては、座標値の完全一致を明示するため『水平位置の標準偏差: 0m(完全一致)』と追記。		
8/28	2	水土里情報 企画推進部会メンバー	農地	属性	登記簿面積	登記簿面積以外の面積属性を記述する属性項目を作るべきでないか？	新たな属性項目は作らず、別DBとのリンクでシステム上にて対応予定。
	3		農業用排水施設	属性	施設コード	施設コードを構成する内容として、取水源および排水口を記載できる属性項目が必要ではないか。	検討が必要である。
	4			属性	施設コード	施設コードの26桁が長すぎるので不要では？	要不要について引き続き検討を行う。
8/29	5	研究会メンバー	農地	属性	枝番、子番	定義域が半角数字となっているが、文字の場合がある。	文字列で表現するか、数値(半角数字)やアルファベット(半角英字)に変換して表現することも考えられるので、検討を行う。
	6				所有者コード	共有者の取り扱いはどうするのか。 農地の所有者コードと重複するのではないか。	現状では、既存のDBとの連携での対応を考える。(代表者のみを対象とする。) 耕区が存在する場所を明示させるため持たせている。 ただし、耕区データを単独で整備する場合があります、詳細な地番が不要(不明)な場合があるので、検討を行う。
	7		耕区	属性	所有者コード	共有者の取り扱いはどうするのか。	現状では、既存のDBとの連携での対応を考える。(代表者のみを対象とする。)
	8				耕作者コード	共有者の取り扱いはどうするのか。	現状では、既存のDBとの連携での対応を考える。(代表者のみを対象とする。)
	9		頭首工	属性	形式	コード区分のほうが良いのではないか。	事業計画書への文字で記述する項目内容を入力できるようにしているため、文字列(CharacterString)としている。 コード区分による検索への利用を含め、検討を行う。
	10		機場		機場形式		
	11				原動機形式		
	12			原動機動力			
	13		貯水池	属性	堤体形式	種別コードで1つの項目にした方が良いのではないか。	定義上、ため池+ダム、ため池+調整池である貯水池が考えられるため、複数種別としてフラグを立てることができる内容としている。現在の定義に問題がある場合、検討を行う。
	14				洪水吐形式		
	15				取水施設形式		
	16				放流施設形式		
	17				ため池区分		
	18				ダム区分		
	19				調整池区分		
	20		水門	属性	形式	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。
	21				構造	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。
	22	水路	属性	事業名	年度、地区は別項目。	今のところ文字型での自由記述を考えている。必要に応じて、項目追加の検討を行う。	
	23			構造	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。	
	24	集水渠	属性	構造	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。	
	25			規模	コード区分のほうが良いのではないか。	前述と同じ。	